

チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO. 204号
2月 4日(火)

敗戦を胸に…

「今回の敗戦をどうとらえるか？」

今後に向けて、前を向いて考えた時に、とても重要になってきます。全ての試合に勝つことができれば、そんな幸せなことはありません。しかし、相手も『勝ちたい!』と思って戦う以上、負ける時もあるでしょう。先生はそんな中で、負けた時に『なぜ、負けたのか?』と自分自身に問いかけ、自分自身でも敗因を突き詰めていくという作業をしなければ、同じことを繰り返してしまうと思っています。



今回、準決勝で長久手南中に負けた敗因はいくつかあります。試合の入り・連続失点・サブカットミスなど、みんなの頭の中にもパッと思い浮かぶことがあるでしょう。しかし、ある部員のバレーノートにも書いてありましたが、もっと根本の部分を見つめる必要があるのではないかと考えています。客観的に見ると、一人一人の身体能力の面では長久手南中の生徒の方が上でしょう。しかし、先生は絶対になかなかない相手ではないし、十分に勝ちきるだけの力は備えていると確信しています。実際に2セット目、一時は8点差をつけられながらも見事な逆転勝ちを収めることができました。

あのような逆転劇ができるチームは、あなたたちしかいないでしょう。



今回の敗戦をしっかりと心に残し、きちんと敗因を整理して、今日からの練習に臨んでいきましょう。

【ユニフォームの重み】

大会後に、ユニフォームの扱い方・重みについて話をしました。みんなにとっては初めて聞く話であり、自分の価値観とは違ったかもしれません。しかし先生は、代表として自分が通う学校の校名が入ったユニフォームを着ること・大会に出場するということは、それだけ自覚と責任をもたなくてはいけないと思います。先生自身の経験からも、そういう思いはきっとプレーにもつながってくると感じています。

【保護者の皆さんへ】

先日はお忙しい中、会場まで足を運んでいただき、熱い応援をありがとうございました。結果は、秋の新人戦と同じ準決勝敗退（3位）という結果でしたが、子どもたちは最後まで諦めずにボールを拾い続けたと思います。

春の大会・夏の中総体に向けて、課題を解決できるように・今ある長所をさらに伸ばしていけるように、今一度チーム一丸となって取り組んでいきたいと思っています。今後とも活動へのご理解・ご協力、よろしくお願いします。

